

ミロク式救命索発射銃

MIROKU LINE SHOOTER

M-63型 (特許登録済)

用途

1. 高層建築火災時の人命救助
2. 海、河川、湖等に於ける溺者の救助
3. 河川氾濫時の人命救助
4. 船舶のもやい索連絡

特徴

1. ライフル型で軽量
2. ゴム弾及び浮環弾発射可能
3. 投射経費僅少
4. 操作簡便、安全発射

従来救命用ロープ発射銃は火薬を使用し、ロープ弾を発射する方法を採用して来ました。従って火薬取締法の適用を受け、保管、取扱等々の規制がありました。本発射銃は独創的な構想に基づき研究を重ね、空気呼吸器用ボンベの高圧空気を利用して、ロープ弾を発射する事が出来る画期的な商品であり、銃砲所持許可証は必要ですが、火薬取締法に触れず、取扱の簡便、絶対安全を旨として完成されたものであり、投射経費もかかりません。尚、当製品は、ゴム弾を発射するだけでなく、発射し着水後、浮環が膨張浮上する浮環弾も装備していますので、海、河川等に於ける人命救助にも役立つ事と思います。

M-63型

<発射要領>

- 1) 本発射銃バレルリング(安全装置)の凸部を刻印「S」に合わせ、引金を引けない状態にする。
- 2) 空気ボンベと銃をゴムホースで接続する。
- 3) ゴムホースのニードルバルブを閉じてから、空気ボンベのバルブを静かに開き、充填圧力を9~15paにし、確認してからボンベバルブを閉じる。
- 4) ゴムホースのニードルバルブを開き、ホース内の空気を抜き、銃からゴムホースを取り外す。
- 5) 銃口を斜め上方に向け、索付弾体を銃身に挿入する。
- 6) バレルリングの凸部を刻印「F」にもどし、安全装置を解除する。
- 7) グリップを右手で握り、左手で銃身を充分掴み、銃床をしっかり肩に当て、引金を一気に引く。

<注意事項>

- イ) 全ての操作の前にバレルリング(安全装置)がかかっている事を確認すること。
- ロ) 発射直前まで、引金に指をかけない事。
- ハ) 空気を充填したら、銃口を上方に向け、以降発射完了まで銃口は上向きを維持する事。
- ニ) 発射の際、ロープは射手前方1メートル程度離しておく事。
- ホ) 15Mpaを超える圧力が入った場合、空打ちし再度充填する事。
- ヘ) 左利きの方は銃を構えた時、圧力計が発射の反動で顔に当たる可能性があります。肩当に充分注意する事。
- ト) 銃の作動を確認するため、月に2回程度試射(空打ちでも可)する事。

<浮環弾の特色>

- イ) 発射して膨張した浮環を回収し、ガスボンベを交換する事により浮環を再度使用する事も出来ます。
- ロ) 水温が氷点に近くなると、ガスボンベの着氷により浮環が完全膨張しない場合があります。
- ハ) ボンベの使用有効期限は購入後3年間です。

諸元

| 発射形式 | 空気圧力 | 到達距離 | 発射角度 | 口径 | 銃身長 | 本体重量 | ロープ |
|------|---------|------------------|------|------|-------|------|-----------------------|
| 高压空気 | 9~15Mpa | ゴム弾85m 浮環弾70m | 35° | 63mm | 450mm | 4kg | ポリプロピレン 3.5mm×160m |

構成

| 品名 | 数量 | 備考 |
|---------|----|--|
| 発射銃 | 1台 | |
| ロープ(袋付) | 2丸 | ポリプロピレン3.5mm・160m |
| 弾体 | 2本 | ゴム製 |
| 浮環弾 | 2本 | 浮力7.5kg |
| 予備品 | 1式 | 浮環2組・ガスボンベ10本 浮環ワッシャ2枚・安全板2枚・セロテープ |
| 付属品 | 1式 | ゴムホース1本・ガンオイル1本・紙テープ1丸 ニッパー1個・結束バンド1袋・浮環バサミ2個 |
| 手入具 | 1式 | ブラシ1個・洗矢1本 |
| 収納箱 | 1個 | ジュラルミン製 |



| | |
|-----|--|
| 特約店 | |
|-----|--|

株式会社ミロク精機製作所
〒226-0012 神奈川県横浜市緑区上山1-4-1
電話 045-931-4541 FAX 045-934-5421